

令和7年度の 「ふじM a a S」の取組について

令和7年7月30日

富士市都市整備部都市計画課

ふじM a a S とは



ふじM a a S

I C TやA I等のデジタル技術や交通資源、地域資源等を有効活用し、
移動の観点から富土地域の課題解決に資する取組

新たなモビリティサービス

- ▶ A I オンデマンド交通の導入
- ▶ 自動運転レベル4の社会実装 等

新しい収益源の確保

- ▶ 観光M a a S
- ▶ 異業種連携 等

<移動データの共有・連携>

交通事業者の業務生産性向上

- ▶ 運行・管理業務の効率化
- ▶ 運行・管理業務のD X 等

利用者の立場からの利用環境改善

- ▶ M a a S アプリ
- ▶ デジタルチケット
- ▶ U I (ユーザーインターフェース) ・
U X (ユーザーエクスペリエンス) の改善 等

etc.



持続可能な公共交通ネットワークの構築

今年度の主な取組



1

ふじM a a S推進協議会の運営

地域課題の解決に向け「ふじM a a S」を推進するため、幅広い参画者のもと、全国のM a a Sに関する最新の情報を共有するなど取組を後押し

2

A I オンデマンド交通

・のるーとふじ運行、のるーとひまわり支援

まちなかを中心としたエリアにおいて、令和6年に運行を開始した「のるーとふじ」を運行するとともに、本年2月に運行を開始した「のるーとひまわり」を支援

・M a a Sアプリ「乗換案内」との連携

市民や来訪者の公共交通に関する利便性向上を図ることなどを目的として、「のるーとふじ」とジョルダン社「乗換案内」を連携

3

自動運転バス

・社会実装に向けた推進体制等調査・検討

R9（2027）年度における自動運転の社会実装に向けた推進体制や実施体制について調査・検討するとともに、社会受容性の向上方策の検討等を実施

・新富士駅・富士駅間の公道実証運行

自動運転バスの社会実装に向けて、両駅間において公道実証運行を実施

ふじM a a S 推進協議会の運営



地域課題の解決に向け「ふじM a a S」を推進するため、幅広い参画者のもと、情報共有等を行うとともに、M a a Sに取り組む意義等を広く市民等に周知することを目的としてシンポジウムスタイルでの開催を予定

ふじM a a S 交流会

本日
開催

・講演、事例紹介等

「M a a S・新交通の今後と 我が国の公共交通の現状と課題」

(一社) システム科学研究所

常務理事 東 徹 氏

1993年社団法人システム科学研究所入所
行政の交通計画に関わる調査・分析のエキスパートとして、これまで数多くの道路交通・公共交通の交通計画・政策の立案に携わる。

具体的には、近畿地方整備局の道路交通の将来予測や費用便益分析、「歩くまち京都」や富山県朝日町等の自治体の交通政策や、熊本バス共同経営計画に携わる。

「公共交通での タッチ決済の現状と今後の展開」

株式会社ジェーシービー

加盟店営業統括部営業戦略グループ

「富士市における 令和7年度のふじM a a Sの取組について」

富士市都市整備部都市計画課

・交流会

交通事業者や有識者、県内自治体担当者などが情報や知見を共有し交流を深め、地域間連携を通じた「ふじM a a S」の更なる推進を図る。



ふじM a a S 推進協議会

12月
開催予定

自動運転講演会及び試乗体験 (仮)

開催概要 (予定)

富士市産業交流展示場において、自動運転をテーマとした基調講演や事例紹介に加え、自動運転バスの試乗体験、参加者間の意見交換を実施し、全国的に日々進化する自動運転技術を紹介し、来場者が自動運転技術を身近に感じることで自動運転に対する社会受容性の醸成を図るとともに、本市が取り組んできた自動運転の先進的な事業や姿勢を発信することにより、自動運転バスの社会実装に向けて機運醸成を図る。



【会員向けメールサービスの配信】

- ・ M a a S に関連する最新情報
 - ・ バス、タクシー等交通事業者に対する補助金等の支援情報
- など会員の皆様にご活用いただきたい内容を随時配信



A I オンデマンド交通 のるーとふじ運行



富士市における人流データ（携帯電話の位置情報に基づいた移動データ）を分析し、既存の路線バスやコミュニティ交通の状況等を加味したうえで、A I オンデマンド交通の利用が多く見込めるエリアを選定し、令和6年2月1日から運行を開始し、現在も運行中

令和6年
2月1日
運行開始

買い物・通院・習い事など
乗りたいときに予約する!!

AI オンデマンドバス

のるーとふじ

従来のバスのように時刻表や決まった運行ルートがなく、A I（人工知能）が予約状況に応じて運行ルートを考えながら走ります。乗りたいときに、アプリや電話で予約をしたら、指定された時間に乗降ポイントへ行くだけ！フレキシブルな運行が可能な乗合バスです。

「のるーとふじ」って何？

のるーとふじ乗降ポイントマップ

1乗車定額 **300円**
※小学生・障害者手帳所持者及びその介護者は150円
月～土まで毎日運行！
運行時間 8:00～18:00
※日曜、祝日、盆（8/13～15）、年暮年始（12/29～1/1）は運休

こちらが「乗降ポイント」の目印です!!
路線バスのバス停と併設されているところもあるため、他のバスへの乗り継ぎにも使えます。

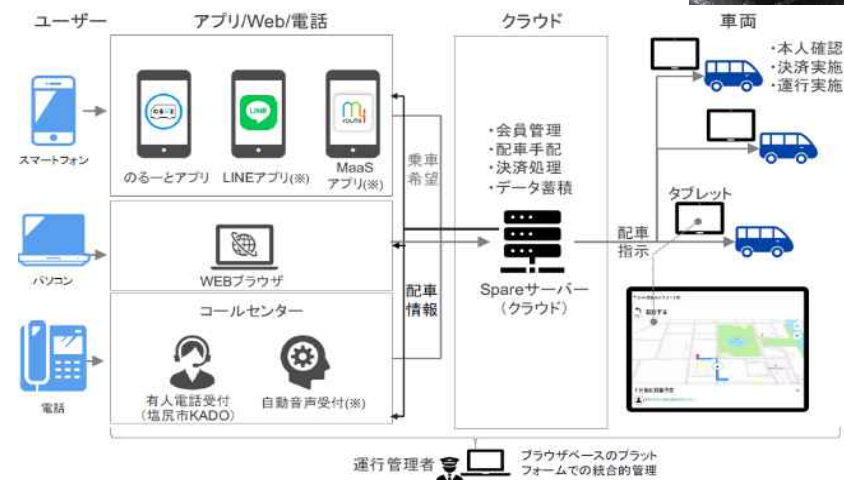
石川タクシー富士(株)
TEL.0545-51-1135
(運行日の7:00～18:00)
詳しくはウェブサイトへ! 富士市 のるーとふじ

「のるーとふじ」の特徴

- 運行エリアは、伝法・吉原・富士北地区の一部
- 36か所の乗降ポイントを設定
- 運行車両は、ジャンボタクシー 1台
- 予約方法は、電話、専用アプリ、富士市公式LINE
- 平日（月～土）8:00～18:00運行
- 定額運賃（300円/人・乗車）



【利用の流れイメージ】



A I オンデマンド交通 のるーとふじ利用促進



- ▶各学校（吉原小学校、伝法小学校、吉原第一中学校）にチラシ配布
- ▶障害者就労支援部会会議にて説明
- ▶民生委員（伝法・吉原）に説明
- ▶各ふれあいいきいきサロンにて説明
- ▶運行エリア周辺の学校や塾にチラシ配布
- ▶うりじままつり チラシ配布
- ▶伝法まちセン自主グループ チラシ配布（電子メール）
- ▶ぶらりっとウェブサイト「のるーと」体験記事掲載
- ▶少年教育講座（伝法まちセン）にて紹介・説明
- ▶バスの日イベントにブース出展（パネル展示等）
- ▶伝法地区お祭りイベントにブース出展（車両・パネル展示等）
- ▶随時 報道提供、市公式SNS掲載
など様々な取組を継続中



A I オンデマンド交通 M a a S アプリ連携



A I オンデマンドバス
「のるーとふじ」

×



トータルマルチモーダル経路検索サービス
「乗換案内」

令和6年10月1日から連携

- 「乗換案内」で経路検索をした際に出発地・目的地などが「のるーとふじ」の運行エリア内の場合、のるーとふじの利用を含めた移動の選択肢が表示されるように。

- 経路検索結果内のバナーをタップすることで、「のるーと」アプリがインストール済みの場合には、「のるーと」アプリが起動し、乗降地点の情報が引き継がれる形で配車予約までスムーズに行えるように。

①乗換案内で検索



②検索結果のバナーを
タップ



③発着データをのるーと
ふじの予約へ引き継ぎ利用



A I オンデマンド交通 のるーとひまわり支援



令和6年度に交通事業者が自主的に運行している既存のバス路線のうちA I オンデマンド化を要望する路線についてシステム構築等の支援を実施

《富士市立地適正化計画》

市民生活に必要な都市機能の立地誘導を図る「都市機能誘導区域」や一定の人口密度を維持し居住の誘導を図る「居住誘導区域」を設定しており、その区域において「新たな公共交通サービスの導入」や「公共交通の利便性向上」を図ることとしている。

《富士市地域公共交通計画》

循環バス「ひまわりバス」は、富士駅・吉原中央駅周辺の商業施設や医療機関などを「きめ細やか」に巡り、主に「まちなか」の住民の「日常生活の足」としての役割を担うこととしている。



富士急静岡バス株式会社の意向・要望

循環バス「ひまわりバス」にA I オンデマンドシステムを導入し、循環バスとしてのサービス水準の維持・向上を図りつつ、収支状況の改善を図りたい。



メリット

【利用者の視点】

従前の定時定路線の路線バスと比べた場合、時間や乗降場所について柔軟に選ぶことが可能となり利便性が向上する。

【交通事業者の視点】

運行車両のダウンサイジングにより運転士不足の解消に寄与するとともに、日中などのオフピーク時の効率化が期待できる。



令和7年
2月3日
リニューアル

買い物・通院・習い事など
乗りたいときに予約する!!

AI オンデマンドバス

のーと ひまわり 吉原中央駅
エリア

従来のバスのように時刻表や決まった運行ルートがなく、AI（人工知能）が予約状況に応じて運行ルートを考えながら走ります。乗りたいときに、アプリや電話で予約をすれば、指定された時間に乗降ポイントへ行くだけです。
フレキシブルな運行が可能な 乗合バスです。



令和7年
2月3日
リニューアル

買い物・通院・習い事など
乗りたいときに予約する!!

AI オンデマンドバス

のーと ひまわり 富士駅
エリア

従来のバスのように時刻表や決まった運行ルートがなく、AI（人工知能）が予約状況に応じて運行ルートを考えながら走ります。乗りたいときに、アプリや電話で予約をすれば、指定された時間に乗降ポイントへ行くだけです。
フレキシブルな運行が可能な 乗合バスです。

---乗降/バスマーク
乗降バスのバス停と併設されている「乗降ポイント」です。
乗降バスのバス停と併設されていないところもあるため、他のバスの乗降点とご確認下さい。







1乗車定額 300円
小学生・障害者乗降付乗客は毎月～土まで毎日運行
運行時間 8:30～18:00
※平日、祝日、夏休（7/13～15）、年末年始



ひまわり 富士駅エリア 乗降ポイント マップ

---乗降/バスマーク
乗降バスのバス停と併設されている「乗降ポイント」です。
乗降バスのバス停と併設されていないところもあるため、他のバスの乗降点とご確認下さい。

1乗車定額 300円
小学生・障害者乗降付乗客及びその乗客は150円
月～土まで毎日運行!
運行時間 8:30～17:00
※平日、祝日、夏休（7/13～15）、年末年始（12/29～1/3）は運休

---乗降/バスマーク
乗降バスのバス停と併設されている「乗降ポイント」です。
乗降バスのバス停と併設されていないところもあるため、他のバスの乗降点とご確認下さい。

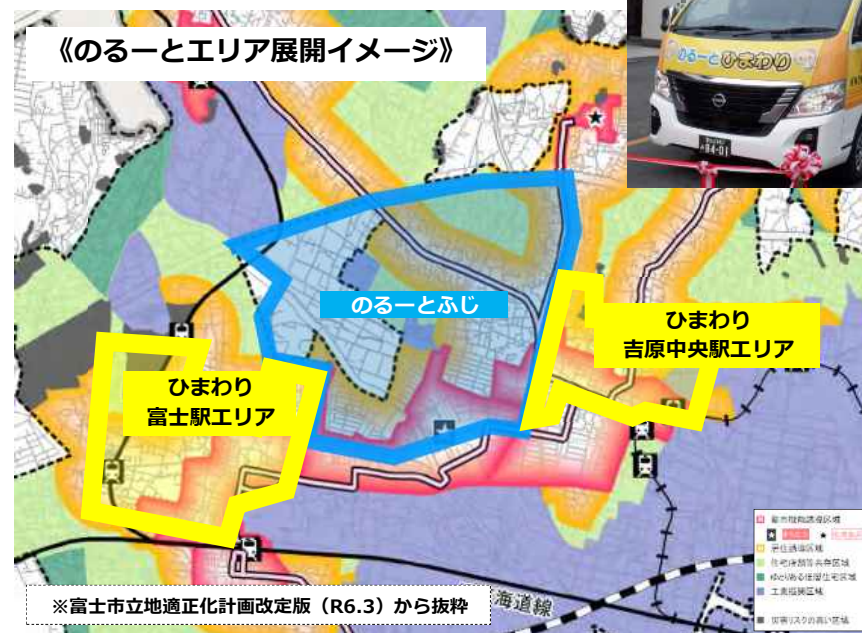
TEL.0545-51-1135
(運行日の 7:00～18:00)

乗降ポイント
お問い合わせ
フォーム

富士急静岡バス（株）

問い合わせ
フォーム

- 運行エリア：富士駅エリア・吉原中央駅エリア
- 乗降場所：71か所（2エリア合計）
- 運行車両：ジャンボタクシー2台
- 予約方法：電話、専用アプリ、富士市公式LINE
- 平日（月～土）8：30～17：00運行
- 定額運賃（300円／人・乗車）



自動運転バス

【国交省】共創・MaaS実証プロジェクト採択事業

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査結果概要



基礎調査の概要

1 地域の現況・課題の把握及び移動需要の分析

- ✓ 道路交通状況や周辺状況等の把握
- ✓ 地域課題の分析
- ✓ 将来の移動需要の分析

《新富士駅・富士駅の周辺状況》

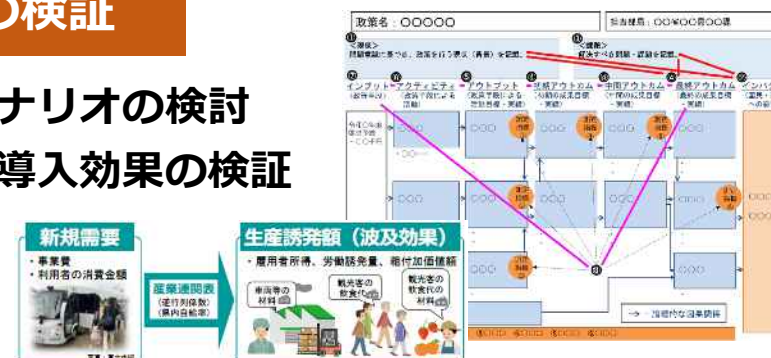


2 導入候補車両の選定等

- ✓ 導入候補車両の選定・ルート候補の設定
- ✓ 自動運転導入に向けた課題の整理
- ✓ 導入ルート候補の評価

3 自動運転の導入が地域に与える効果の検証

- ✓ ロジックモデルによる自動運転導入効果シナリオの検討
- ✓ アンケート・ヒアリングによる自動運転の導入効果の検証
- ✓ 経済分析による地域への波及効果の検証
- ✓ 自動運転導入による地域の将来像の検討



※ロジックモデルのイメージ

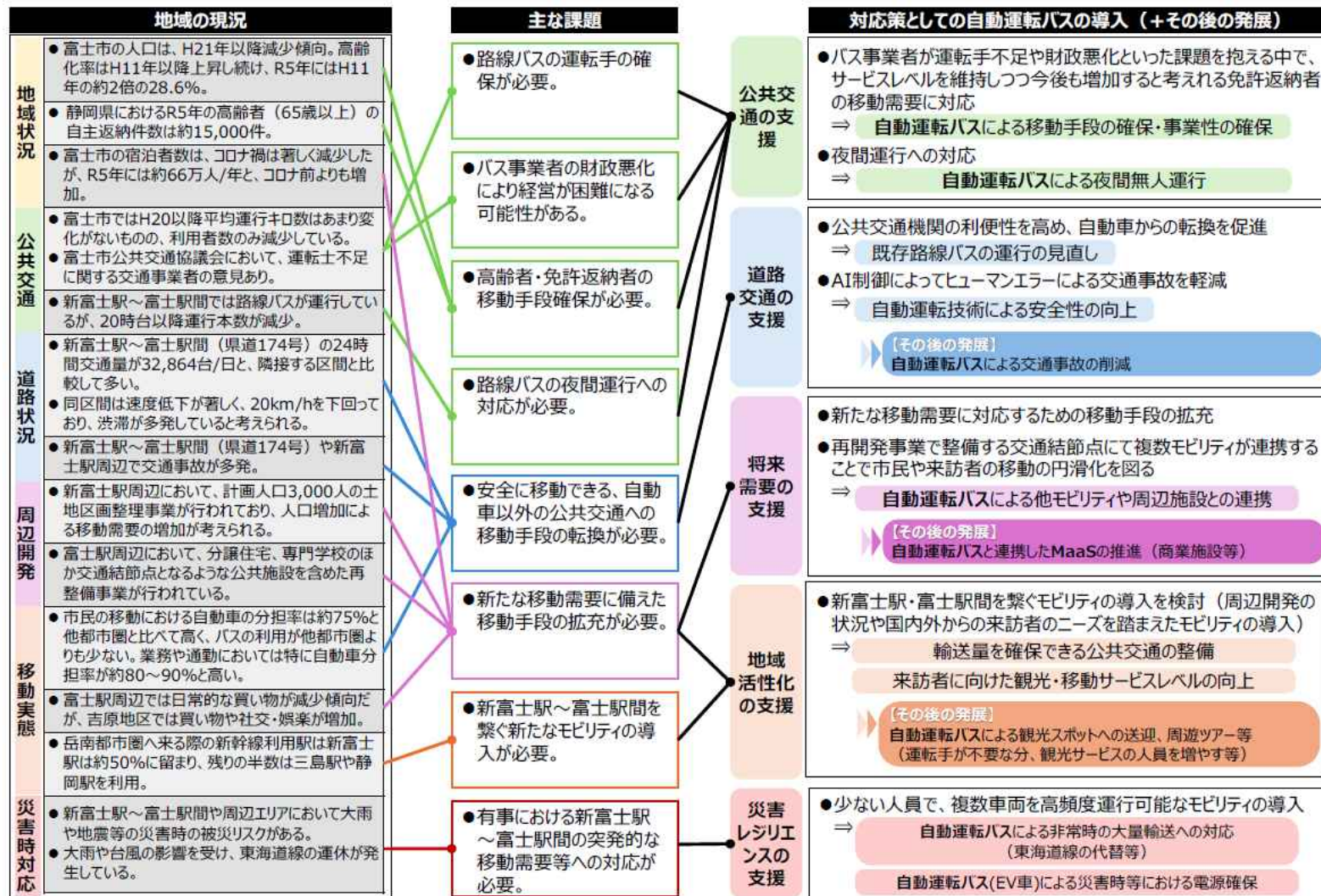
自動運転バス

【国交省】共創・MaaS実証プロジェクト採択事業

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査結果概要



1 地域の現況・課題の把握及び移動需要の分析



▲地域の現況・課題を踏まえた自動運転バス導入効果

自動運転バス R6 新富士駅・富士駅間基礎調査結果概要

【国交省】共創・MaaS実証プロジェクト採択事業



2 導入候補車両の選定等

項目		1	2	3	4	5
車両タイプ		小型バスタイプ	小型バスタイプ	小型バスタイプ	中型バスタイプ	中型バスタイプ
自動運転システム提供		埼玉工業大学	先進モビリティ(株)	(株)ティアフォー	先進モビリティ(株)	埼玉工業大学
ベース車両		日野 リエッセ II	日野 ポンチョ	BYD J6 2.0	いすゞ エルガミオ	日野 レインボー II
外観						
自動運転の種類		自律型	自律型/磁気マーカー	自律型	自律型	自律型
乗車人員 (座席(補助席含む) +立席+運転席)		25人 (24+0+1)	36人 (11+24+1) (実験時は11人)	25人 (15+9+1) (実験時は16人)	61人 (24+36+1) (実証時は28人)	61人 (24+36+1) (実証時は18人)
大きさ	全長	625.5cm	699cm	719cm	899cm	899cm
	全幅	208cm	208cm	232cm	230cm	230cm
	全高	263cm	310cm	305cm	304.5cm	304.5cm
最高速度		40km/h (実証時)	36km/h (実証時)	35km/h	40km/h (実証時)	50km/h (実証時)
燃料/電源		軽油	軽油	EV	軽油	軽油

▲自動運転バス導入候補車両

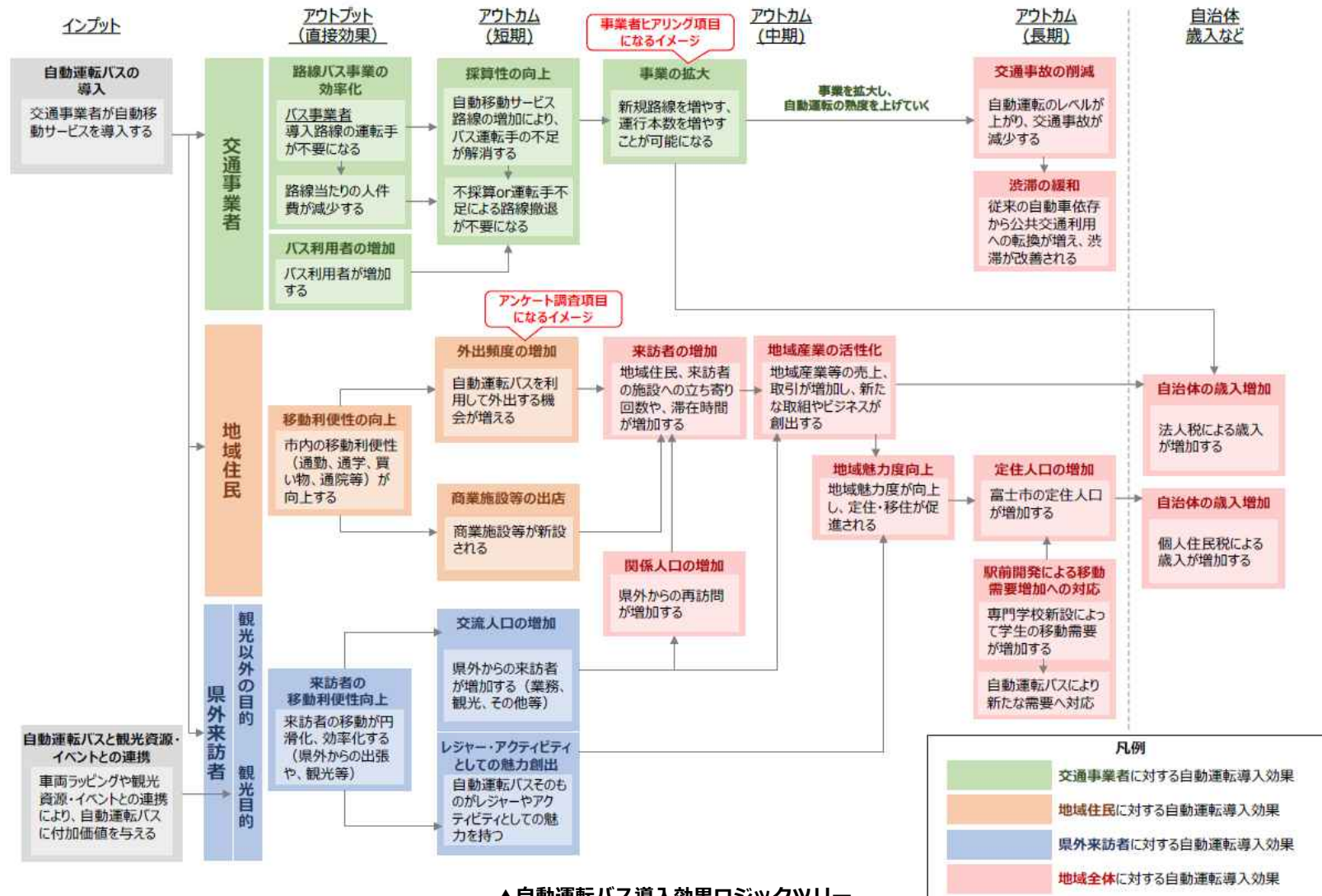
自動運転バス

【国交省】共創・MaaS実証プロジェクト採択事業

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査結果概要



3 自動運転の導入が地域に与える効果の検証



▲自動運転バス導入効果ロジックツリー

自動運転バス R6 自動運転バス公道実証運行実績



・実施期間 令和7年1月15日（水）から21日（火）まで ※7日間

・運行ルート・ダイヤ等

【富士見台ルート】（富士市事業）



【新富士駅～富士駅ルート】（静岡県事業）



・乗車人数（延べ人数）

【富士見台ルート】 354人（小学生166人含む。）

【新富士駅～富士駅ルート】 369人

・運行車両 8人乗りグリーンスローモビリティ

（乗客定員6人、最高速度19km/h、
タジマモーター社製NAO8J）

・自動運転 レベル2（ドライバーが乗車し安全を確認・判断）

・事業協力 東急株式会社（事業受託者）、
富士急静岡バス株式会社（ドライバー派遣）



◀▶広報チラシ

自動運転バス R6 実施結果まとめ

R6 新富士駅・富士駅間基礎調査

- ▶ 地域課題に対応すべく自動運転バスの必要性を確認
- ▶ 自動運転バスの導入による両駅間の移動需要は**最大949人/日**
- ▶ 上記によるピーク時の移動需要は**14.8人/便**

R6 自動運転バス公道実証運行

- ▶ 新富士駅・富士駅間は一定程度以上の速度が望ましい。
 - ▶ 運行ルートは車道と歩道が明確に分離されていることが望ましい。
 - ▶ 試乗者アンケートによれば
 - ・ 早期運行して欲しい。
 - ・ 早く実用化されて事故がない世の中になって欲しい。
- など早期の導入に期待する声



これらを踏まえて…

R 7 実施事業

- ・ 社会実装に向けた推進体制等調査・検討
- ・ 新富士駅・富士駅間の公道実証運行

自動運転バス 社会実装に向けた推進体制等調査・検討

R9（2027）年度における自動運転の社会実装に向けた推進体制や実施体制について調査・検討するとともに、社会受容性の向上方策の検討等を行う。

✓ 実施項目の整理及び設定

- ▶ 路車協調システムなど安全性を確保するための措置（安全面）
- ▶ 自動運転の実現と円滑な運行に向けた検討（運行サービス面）
- ▶ 安全性の確保や円滑な運行を実現するための自動運転技術等の確保（技術面）

項目	1	2	3	4	5	6
実施計画	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス
実施内容	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス
実施期間	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
実施場所	富士市	富士市	富士市	富士市	富士市	富士市
実施車両	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス
実施回数	10回	10回	10回	10回	10回	10回
実施人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
実施費用	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円	10万円
実施効果	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス	自動運転バス

▲自動運転車両例



路車協調システムイメージ▲

✓ 事業の実施・協力体制の検討

- ▶ 遠隔監視等の自動運転バスの運行を実現するための体制（体制面）
- ▶ 経済的かつ効率的な運営（経済面）



▲連携体制イメージ（レベル4モビリティ地域コミュニティ）

✓ 社会受容性の向上方策の検討など



小学生向け自動運転バス体験乗車の様子▲

自動運転バス 新富士駅・富士駅間の公道実証運行

政府の掲げる目標（2027（令和9）年度に全国100か所以上で自動運転移動サービス実現）を見据え、新富士駅・富士駅間の連携強化や市民への公共交通の利用促進を図ることなどを目的として、両駅間の公道において自動運転バスの実証運行を実施する。

実証運行内容（予定）

- ▶ 実施時期：令和7年11月～12月頃
- ▶ エリア：新富士駅～富士駅
- ▶ 自動運転：レベル2
- ▶ 最高時速：35km以上
- ▶ 乗車定員：15人程度
- ▶ 利用料金：無料
- ▶ 利用方法：事前予約制



R9 (2027)
の社会実装を
目指す





持続可能な公共交通ネットワーク

の構築を目指します！

**富士市 都市整備部 都市計画課
公共交通推進担当**

(ふじM a a S推進協議会 事務局)

TEL : 0545-55-2904

E-mail : toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp